

あなたの可能性が、さきを拓く
自分をつくり、互いを認める教育

学校水泳授業の民間施設活用 モデル事業の実施について

令和 8年 3月 9日

総合教育会議資料

尼崎市教育委員会事務局

学校水泳授業のモデル実施に係る令和8年度の方向性について

背景・目的

- ・本市の学校プール施設は約6割が耐用年数の45年を越えており、学校プール施設の老朽化により施設改修費用等のコストがかかる。
- ・教員の指導力向上、負担軽減も見据え、学校水泳授業がより充実したものになるように民間委託も踏まえた本市の実情に合った効果的・効率的な授業の在り方の検証を行う。
- ・熱中症リスクの高まりや雨天等天候不順による授業の中止など授業日数の確保が困難になる事例や、児童の安全対策や施設の維持管理についても課題がある。

学校水泳授業モデル実施の拡充

令和7年度については、4校でモデル実施を行った。教員・保護者・児童からの評価は高かったが、それぞれの学校で新たな気づきがあった。

それらを踏まえて、継続してモデル実施をするとともに、新たな実施校も追加し、学校水泳授業の在り方について、方向性を定めていきたい。



モデル校を4校から10校へ拡充

令和7年度の振り返り

- 令和7年度の実施結果を受け、個別の課題等はあるものの、特に児童の泳力向上、教員の負担軽減の観点では一定の成果があり、今後も継続的に実施することが有効であるとの前提に立つことができた。

	明城小学校	潮小学校	成文小学校	下坂部小学校
手法	民間施設	民間施設	民間施設	民間施設
移動（時間）	徒歩 （校区内1km圏内）	徒歩 （校区内1km圏内）	徒歩 （校区内1km圏内）	バス
指導	インストラクター&教員	インストラクター&教員	インストラクター&教員	インストラクター&教員
実施時期	6月から7月	6月から7月	6月から7月	6月から7月
児童数	396人	629人	252人	422人

■ アンケート結果

	良い点	改善点などの意見
児童	<ul style="list-style-type: none"> ・プールに屋根がある（46%） ・プールがきれい（71%） ・プールのシャワーが冷たすぎない（71%） ・コーチの教え方がわかりやすい（60%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が短い（61%） ・回数が少ない（41%） ・コーチの声が聞こえにくい（32%） ・外で泳ぎたい（14%）
教員	<ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右されない ・インストラクターの指導方法を学ぶことができた ・児童の泳力向上につながった。 ・負担軽減につながった（特に管理業務） 	<ul style="list-style-type: none"> ・暑い時期の徒歩での移動 ・バス移動時間の有効活用 ・時間割の調整 ・朝の時間が児童も教員も忙しい
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右されず実施できること ・プールが広くてきれい ・学校のプールより安全 ・レベルに合わせ専門的な指導を学ぶことができる ・日焼けの心配がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・暑い時期の徒歩での移動 ・移動してまで行く必要があるのか ・自校にプールがあるのだから自校でしてほしい。 ・もう少し遊びの時間がほしかった。

今後について

- 令和8年度は、新たな実施校を追加した上で、継続してモデル実施を行い、学校水泳授業の在り方について、方向性を定めていく。

※ 中学校では、下記の理由からモデル実施の対象外としている。

①専科の教員が在籍している、②1コマ単位の授業で時間割編成をしている

- 実施結果を踏まえた、現時点での「今後の取組の方向性（案）」は次のとおり。

- ・ モデル実施による検証は、概ね令和9年度で完了を目指す。
- ・ 既に民間プール施設での水泳授業を実施している学校は継続する。
- ・ 令和8年度中に、近隣の民間プール施設における学校水泳授業の実施可否や受入可能人数を明らかにする。
- ・ 児童の教育環境の向上と市内全域での教育環境の均等を図る。
- ・ 最終的には、全市立小学校それぞれにおける学校水泳授業の実施手法案を定める。

- 令和9年度までの検証をもとに、全市立小学校の学校水泳授業の手法案を定めるとともに、民間施設の受入可否については模索を続け、できる限り民間委託を増やす方向で検討を進める。
- なお、各学校の水泳授業の手法については、民間施設数や各学校の築年数の推移、児童数の推移を踏まえて、継続的に見直しを続ける。

令和8年度と今後の方向性について

令和8年度について

- ・ 令和7年度に実施したモデル校は、引き続き個別の課題について、検証を行うため継続する。
- ・ また、新規施設も含めて、モデル校を追加し、検証と民間施設の確保を進める。



**モデル校は6校を新たに追加し、10校へ。
引き続き、検証を続ける**

- ・ 1施設2校実施の検証
- ・ 実施時期の検証
- ・ 施設バスを用いた移動の検証
- ・ 校区外の施設での検証 など

今後の方向性

- ・ 学校プール施設の老朽化による建替、修繕計画
- ・ 教員の指導力向上と負担軽減
- ・ 民間施設活用の課題解決に向けた検証

令和8年度

- ・ 令和7年度の課題を踏まえた検証
- ・ 新規施設の検証と確保

令和9年度（モデル事業総括）

- ・ 令和8年度の課題を踏まえた検証
- ・ 新規施設の検証と確保
- ・ 市内全校の方向性決定

令和10年度（新たな水泳授業へ）

- ・ 市内全校の方向性に沿った新たな水泳授業の展開

令和8年度の実施予定校

モデル継続校

令和7年度

モデル校1 明城小学校

- ・徒歩での移動時間が15～20分。暑い時期の移動には課題有。
- ・2クラス/学年のため、担任だけでは引率教員数が足りない。

モデル校2 潮小学校

- ・大規模校のため、更衣室が狭かった。
- ・定休日のみの実施であったため、1時間から5時間目に詰めて実施をしたことから、タイトなスケジュールであった。

モデル校3 成文小学校

- ・教員が入水し、インストラクターと一緒に指導することで、教員の指導力向上につながった。

モデル校4 下坂部小学校

- ・バス移動で実施したが、バスの確保と学校側の日程、施設側の日程調整に苦慮した。



令和8年度

モデル校1 明城小学校

- ・移動面の課題について、実施時期の検証。
- ・2学年同時での実施について検証。

モデル校2 潮小学校

- ・更衣室の使い方と時間割について検証。

モデル校3 成文小学校

- ・教員の指導力向上の方策を中心に検証を続ける。

モデル校4 下坂部小学校

- ・中規模校&バス移動校において日程調整のプロセスを確立する。
- ・バス移動中の時間の有効活用（目当てと振り返りの確認など）
- ・当校は建替の観点からも継続実施が必要。

令和8年度の実施予定校②

令和8年度追加校

【考え方】

- ・学校プール施設が築60年以上の学校
- ・新たに提案のあった新規施設の検証と確保

モデル校5

- ・潮小と同施設で実施予定。同施設2校実施について検証。
- ・徒歩15分以内で校区外の施設への移動について検証。

モデル校6

- ・バス移動について検証。
- ・水泳授業の実施に適している施設か検証。

モデル校7・8

- ・施設バスを用いた移動について検証。
- ・水泳授業の実施に適している施設か検証。

モデル校9・10

- ・徒歩15分以内で校区外の施設への移動について検証。
- ・水泳授業の実施に適している施設か検証。

学校水泳授業の民間施設活用モデル事業の実施 33,683千円

No.18

(学校体育関係事業 令和8年度事業費 34,818千円)

所属：教育委員会事務局 学校教育課

事業の内容

【背景・目的】

本市の学校プール施設は約6割が耐用年数の45年を越えており、学校プール施設の老朽化により建設改修費用等のコストがかかる。
また、教員の指導力向上、負担軽減も見据え、学校水泳授業の民間委託を踏まえた本市の実情に合った効果的・効率的な授業の在り方の検証を行う。

【事業概要】

学校プール施設の耐用年数を越える学校を対象に、民間施設活用実施に向けての課題解決方法を、モデル実施により検証し、今後の方向性を決定していく。
また、インストラクターによる指導実践により、小学校教員の指導力向上、負担軽減を図る。

評価指標

【アウトカム(成果指標)】 アンケート（教員・児童）による検証

【単位】 - 【R10目標値】 -

【アウトプット(活動指標)】 -

【単位】 - 【R10目標値】 -

児童の意欲の向上、泳力の向上が図れたか、教員の指導力向上と負担軽減につながっているか、建築改修費等のコスト削減ができたかを確認する。

事業イメージ

【民間施設を活用した水泳授業】



- インストラクターが水泳指導を行う。
- インストラクター1人につき、児童15名程度のグループに分ける。
- 教員はプールサイドから評価を行う。または児童と一緒に入水する。
- 令和8年度については、施設バスを活用するモデルと校区外の施設へ徒歩移動するモデルを検証する。